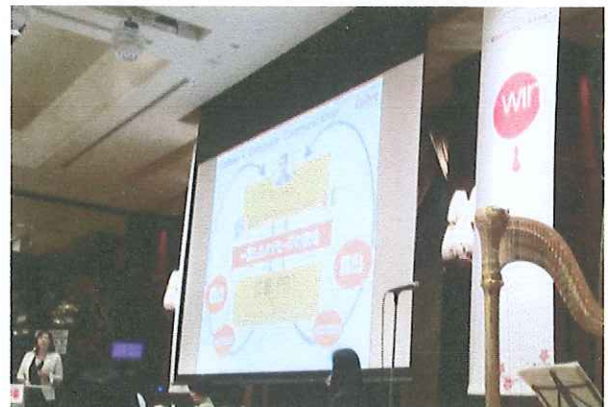


第5回ジャパン WIN コンファレンス参加レポート

(レポート：NPO 法人女性と仕事研究所 代表 諸田智美)

2015年4月9日、10日にシャングリラ・ホテル東京にて「第5回ジャパン WIN コンファレンス」～変化を実現する時～が開催されました。2日間のトピックスを7件報告します。

1. 開会式



基調講演は、カルビー株式会社代表取締役会長 兼 CEO 松本晃氏による「カルビーのダイバーシティ経営」。「Diversity is My Lifework」とし、女性の登用を推進し、女性管理職比率2010年5.9%から2015年19.8%と上昇、2011年3月11日に東証一部上場後は株価も4年で約10倍上昇した発表内容は、参加者へ十分なインパクトがありました。

☆ダイバーシティ経営のポイント

- ・1日のできるものではなく、長期的に忍耐強く取りくむ。
- ・トップのコミットメント、数値目標が必要。202030（2020年までに女性管理職比率を少なくとも30%程度に）を達成するためのマイルストーン（道すじ）が必要。
- ・社員の理解、納得、行動が必要。
- ・業績が悪化するとダイバーシティは後退するというリスクもある など。

松本会長に続き、女性執行役員からは、株価約10倍の答えは「ダイバーシティ」で取組事例とあわせて報告があり、達成するためのマイルストーン（道すじ）を長期的に着実に実行した成果ということが理解できました。なお、ROE（自己資本利益率）が5年で5%から13%へ上昇したという発表もインパクトのある数字です。

2. 全体会議：「グローバル概要」どんな環境で私たちは働いているのか？

JP モルガン証券株式会社 Managing Director、Jesper Koll（ジャスパー コール）氏からは、「日本経済の環境を楽観的にとらえている、女性活躍は追い風で企業を内から変える」等報告がありました。具体的なデータをもとに、日本の強みは「先行投資として民間企業の研究開発費用が Rich なためイノベーションの力がある、60歳以上の平均貯蓄高が高

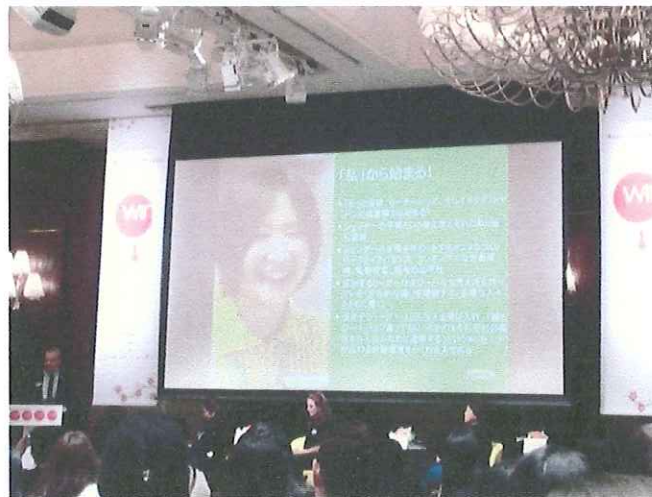
い、20歳以上40%が借金なし。」一方、日本の弱みは「人口減少と4割が非正規雇用である」ことも報告されました。また、日本の場合、非正規雇用と正規雇用に次の3つの違いがあり、改善が必要と指摘しています。①給与②融資③結婚できない。

2人目のOECD東京センター 今岡由美子氏からは具体的なデータをもとに、「日本女性の読解力は高いが、雇用率とのギャップがある。日本の学生男女ともに15歳の時は管理職で働く計画を立てている。しかし、女性は年を重ねると考えが変わってしまう。課題は、子どもがいると男女給与格差が広がる、女性の平均睡眠時間は短い、男性の長時間労働。」等を報告。

3人目のノルウェー女性外交官からは、「ノルウェーでは1970年代女性の就業率が低かったが、男女共同参画に40年取り組んだ結果、就業率7割、出生率も上昇した。父親の9割が育児休暇を取得しており、男女ともにキャリアと家庭の両立へマインドセットした。競争力のある企業のために必要なことで、ノルウェーは勤務時間が短いが成功している。家族と長い時間を過ごすのが幸せになり、良い社員となる。」と報告。

3人のお話を聞いて、日本の職場は①非正規社員と正規社員の格差解消、②長時間労働改善、③男女ともに「キャリアと育児の両立へ」マインドセットをさらに推進していく必要があると感じました。

3.全体会議：「将来の会社」 どの企業が道を切り開いているのか？



男女4名のグローバル企業の社長が登壇し、IKEA Japan 社長兼 CEO Peter List 氏からは「イケアのダイバーシティ」について発表がありました。人口構成変化、知識労働集約、グローバル化を背景に、99%が正社員（内61%が短時間正社員）、64%が女性社員、43%が女性マネージャーという社員構成でダイバーシティ経営を積極的に進めています。

☆ダイバーシティ経営のポイント

- ・ダイバーシティは意識的にデザインする・私から始まる・インフラが必要
- ・人材に投資する など。

IKEA のダイバーシティ経営が日本のスタンダードな経営になったとき、2の全体会議で感

じた日本の職場の課題が解決されるでしょう。

4. 全体会議: 「将来のキャリア像」 女性はどう機会を見つけ、自分の未来を創っているのか?

4名のグローバル女性リーダーと1名の日本の女子学生が登壇し、「1人1人の働き方をマネジメントする、産休から戻って何をしたいのか、成功したいのか」、「アンコンシャス=無意識の偏見が大きな問題」などの発表がありました。女性と仕事研究所発行「女性と仕事ジャーナル23号」でも「社員の個別管理」、「無意識のバイアス(偏り)」について女性活躍の課題として解説しています。

5. 全体会議: 「自己実現」 自分や自分を取り巻く人々の可能性を作成する

3名の日本の女性リーダーが登壇し、「レジリエンス(折れない心を作る)」が自己実現に必要なことと感じました。

6. 全体会議: 「日本における女性のための機会」 日本における働いている女性の現在の状況は? これからのトレンドとは?

野田聖子議員が登壇し、「女性の可能性は無限大」というメッセージに多くの参加者のモチベーションがあがりました。

7. ディナー



女性バンドの演奏を BGM に、多くの参加者が美味しい食事と会話を楽しみながらネットワークを拡大していました。WIN CEO Kristin Engvig 氏は「女性のネットワークは、お互いのセーフティネットにもなるし、より楽しい人生の方向付けにもなる」と2日目の全体会議で発表しています。

WIN コンファレンスを通して多くの女性たちが笑顔で交流し、会話しているのが印象的で「変化を実現する時」を意識することができた2日間でした。

WINConference 詳細：<http://www.winconference.net/WINConference>

(NPO 法人女性と仕事研究所 代表 諸田智美)

参考：第5回ジャパン WIN コンファレンス アジェンダより抜粋

4月9日：第一日目

- 9:00 開会式
- 10:00 全体会議：「グローバル概要」どんな環境で私たちは働いているのか？今の職場環境、これからのトレンド、そしてどう未来に向けた備えができるかを話し合おう。
- 11:00 ネットワーキング コーヒータイム
- 11:30 全体会議：「将来の会社」どの企業が道を切り開いているのか？どの企業、団体が積極的・革新的行動をとっている？それら企業の例から何を学べるか？
- 12:30 シャングリ・ラホテル ネットワーキング ランチ
- 13:30 セッション 及び ワークショップ
- 15:00 ネットワーキング コーヒータイム
- 15:30 全体会議：「将来のキャリア像」女性はどう機会を見つけ、自分の未来を創っているのか？キャリア・ディベロップメントや常に変わる環境に適応など
- 16:50 ミニブレイクタイム
- 17:00 全体会議：「自己実現」自分や自分を取り巻く人々の可能性を作成する
- 18:00 全体会議：「日本における女性のための機会」日本における働いている女性の現在の状況は？これからのトレンドとは？
- 18:30 W.I.N カクテル
- 19:30 ディナー シャングリ・ラホテル
- 21:30 ディナー終了

4月10日：第二日目

- 9:00 全体会議：ネットワーキング、メンタリング；エネルギーを維持する技術
- 10:30 ネットワーキング コーヒータイム
- 11:00 セッション 及び ワークショップ
- 12:30 最終全体会議
- 13:00 終了